

NMSH Topics 15 VOL.

March 2018

今月の

院長のイチオシ

【 化学療法科 】

グローバルスタンダードの診療
教育、研究、情報発信を推進し
世界有数の化学療法施設へ

エビデンスに基づくケアを提供し 患者の生きる自由と楽しみを守る

化学療法科にはがん化学療法を専門とする医師、薬剤師が所属し、外来化学療法および当院全体の化学療法レジメン管理を担当しています。現在がん化学療法のほとんどが外来で施行されていますが、通常診療のみならず、臨床試験・治験参加中の患者さんや、合併症のある患者さんの治療も可能です。

当院の外来化学療法室は、「医科大学における外来化学療法施設として、世界水準の診療、教育、研究ならびに情報発信を行い、世界有数の化学療法施設となる」とのビジョンを掲げ、①世界水準の診療、②教育推進、③臨床研究、④情報発信をミッションとして、多職種が協力し合いながら日々の業務を行っています。また、

外来化学療法ニュースを定期的に発信し、免疫チェックポイント阻害薬副作用マネジメントチームや皮膚ケアチームなどを立ち上げ、副作用対応院内マニュアルや医療者・患者向けの指導パンフレットを作成するなど、チーム医療に貢献できるように活動しています。

副作用を最小限に抑えるための支持療法は極めて重要です。しかし、不適切な支持療法はかえって生活の質(QOL)を悪化させます。例えば、白血球減少による感染症を予防するために生ものを食べないように指導するのは科学的根拠が薄く、患者さんの自由と楽しみを奪う結果になります。当科ではエビデンスに基づいた支持療法で患者さんの生活を支えています。

がん化学療法や支持療法についてご相談がある際には、化学療法科までご連絡ください。がん化学療法を専門とするスタッフ一同でご対応させていただきます。

平成 28 年 1 月～ 12 月 実績

総受診者数： 1,895 名

スタッフ紹介

職名	氏名	専門分野
教授	久保田 馨	がん化学療法、コミュニケーションスキル、肺癌
講師	峯岸 裕司	がん化学療法、肺癌、合併症を有するがん治療
薬剤師	輪湖 哲也	がん指導薬剤師、がん専門薬剤師
薬剤師	田中 弘人	がん専門薬剤師
薬剤師	井ノ口 岳洋	がん専門薬剤師

外来化学療法件数推移

